

2021. 2. 1

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

2月の活動予定 2/8、2/15 9:00 ため池公園梅林下スタート 誰でも歓迎!

梅の季節になりました



ため池公園の梅林。早いものは1月半ばから咲きだしましたが、2月に入った2/1には10本近くが開花。これからは日ごとに花の数が増えていくでしょう。

でも、寒さはまだまだ続きそう。赤塚公園のあちこちでは霜柱が立っています。氷が解けた後も土が柱状に盛り上がっています。見た目にはモグラの穴に似ていますが、それほどには大きくないので、区別はつくでしょう↓。

観察活動の開始時間は9:00ですから、明け方にはもっとバリバリに氷が立っていたはずですが、でも、その周りの枯れ草が残っている場所には霜柱は立っていません。枯れた草でも、地面の表面を覆うものがあれば霜柱は立たない、つまり地面の下は凍らないということです。(写真右の下)



今年の「春一番花」はオオイヌノフグリ



左の写真の葉が丸くてギザギザがあるのがオオイヌノフグリです。写真ではぜんぜん分からないのですが、青色の小さな花をいくつか付けていました。日が差すと花びらが開いて、目立つようになるのですが・・・。



このレポートでは「冬に咲く花」を紹介し続けてきましたが、今回は2件。

ほとんど誰も気が付かないでしょうが、八丁目の林の植栽されたサツキツツジに絡まってテッセンに似たつる性の植物が繁殖しています。**クレマチスナパウレンシス**（写真左）という園芸植物です。もともとはため池公園のトイレ脇に植えられていたのですが、その種子がここまで飛んできて、いつの頃からかひっそりと咲くようになりました。



大門地区では冬の林を彩ってくれる花として定番の**ヤブツバキ**（写真右）。昨年は害虫チャドクガが大繁殖したので、今年は花が少ないかもしれません。



ヤブツバキの近くで、見ようによっては花のような、結構きれいなのは**コクサギ**の実（写真左）。殻が弾けて、中から種子が飛び出しました。

沖山地区ではササ刈りも行いました



大門地区の東の沖山地区。サービスセンターがロープを張って林の縁の草原回復を目指した保護エリア。ここにはヤマホトトギスの群落があるほか、アオミズなど他ではあまり見られない野草があります。2/1はモニタリングの参加者が二手に分かれて草刈りを行いました。

赤塚公園友の会 参加団体の紹介

- いたばし水と緑の会（赤塚城址ばった広場、とんぼ池の管理）
- みどりの手（赤塚城址などで林の手入れ活動）2/28、3/28 10:00 ため池梅林下
- ニリンソウ自生地保護活動（大門ニリンソウ自生地などの手入れ）2/14 10:00 大門観察台前 ヤエムグラの抜き取り
- NPO 法人いた・エコ・ネット（中央地区でコットン＝綿の栽培）

関心のある方はサービスセンターにご連絡ください。友の会ボランティアが現地をご案内し、ご希望の団体を紹介します

問合せ先:赤塚公園サービスセンターへ

電話:03-3938-5715

**やめてください！
自然保護とは無縁です**



動物への餌やり↑

↑ 外部からの生物の持ち込み・持ち出しもダメです

良かれと思っての植木持ち込み・置き餌も、ゴミを増やすだけ